

■営業実績 (国内:単体ベース)

		前年比(%)
既存店	日商	101.0
	客数	98.0
	客単価	103.1
全店	売上高	99.3

※ 既存店前年比は、たばこ・カード・チケットの影響を除いた数値です。
 (参考)カード・チケットの影響を除いた既存店日商前年比100.5%

■店舗数

	当月	年度累計	国内計 (AFC含)	海外AFC計	国内外合計
出店	20	36	/	/	/
閉店	10	28			
純増減	10	8			
月末店舗数		15,490	16,421	8,941	25,362

■AFC別月末店舗数

沖縄	南九州	JR九州R	国内AFC計
337	388	206	931

【当月の総括】

- 既存店日商56ヶ月連続の前年越え
 - ・「超も～っちりパン」シリーズ6種類の累計販売数が1,000万食突破(パン)
 - ・「韓国本格グルメ」のキンパ寿司が売上を牽引(寿司)
 - ・「ファミチキ」と飲料とのセット割が好調に推移(カウンターFF)
- 有名企業や人気ゲームコンテンツとコラボレーション施策
 - ・地元有名企業とコラボしたサンドイッチや老舗メーカーとコラボした菓子・デザートがSNSで話題
 - ・人気ゲームコンテンツとコラボした化粧品や衣料品の発売およびキャンペーンが好評
 - ・人気ブランドによる世界的飲料メーカーとのコラボ商品を発売
- 独自性のあるSDGsの継続取り組み
 - ・衣料品・雑貨の回収ボックス「R-LOOP(アールループ)」の実証実験を開始
 東京都世田谷区・杉並区を中心とした約30店舗にボックスを設置。お買い物のついでにリユース・リサイクルに参加できる仕組み

【パン】 TVCMを放映した「超も～っちりパン」がSNSで話題となり、新商品の「キャラメルドーナツ」「ホイップあんぱん」「ピザパン」「チョコメロンパン」「チーズパン」「クリームパン」の6種類の販売が好調に推移するとともに、クーポン施策も売上に貢献した。
 また、人気情報番組で「大きなチーズカレーパン」が紹介された。

【寿司】 「韓国本格グルメ」フェアで展開した、キンパ寿司を中心に新商品の「ツナと彩具材」や「ブルコギ」が売上を牽引した。

【カウンターFF】 定番商品の販売好調に加え「45周年大感謝祭」の一環である「ファミチキ」と飲料とのセット割りが売上を押し上げた。
 また、中華まんでは有名菓子メーカーとコラボした「ホットケーキまん」の販売が好調であった。

株式会社ファミリーマート 月次営業実績の推移[2026年度]

■営業実績(国内:単体)

前年比(%)		26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9	26/10	26/11	26/12	27/1	27/2
既存店	日商	100.6	101.0										
	客数	98.2	98.0										
	客単価	102.5	103.1										

※既存店前年比は、たばこ・カード・チケットの影響を除いた数値です。

前年比(%)		26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9	26/10	26/11	26/12	27/1	27/2
チェーン全店売上高		100.4	99.3										

■店舗数

	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9	26/10	26/11	26/12	27/1	27/2	合計
出店	16	20											36
閉店	18	10											28
純増減	△ 2	10											8
月末店舗数	15,480	15,490											15,490

	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9	26/10	26/11	26/12	27/1	27/2
ファミリーマート (プロパー)	15,480	15,490										
国内AFC	932	931										
国内計	16,412	16,421										
海外AFC	8,900	8,941										
国内外計	25,312	25,362										

・国内AFC内訳

	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9	26/10	26/11	26/12	27/1	27/2
沖縄	335	337										
南九州	389	388										
JR九州リテール	208	206										
国内AFC計	932	931										

株式会社ファミリーマート